

目視に基づくRC構造物の鉄筋腐食速度の推定法

轟俊太郎 渡辺健 田所敏弥 岡本大

鉄筋コンクリート (RC) 構造物の鉄筋腐食による劣化を予測するには、鉄筋腐食速度を評価することが重要です。しかし、供用中のRC構造物における鉄筋腐食速度は、材料条件や施工条件、水掛かりなどの環境条件の影響を受け、構造物や部位・部材毎に大きくばらつきます。そのため、劣化予測の精度を向上させるには、構造物や部位・部材の各種条件に応じて、鉄筋腐食速度を評価することが重要となります。そこで、目視で確認できるはく落等の変状に基づき、鉄筋腐食速度を推定する手法を提案しました(図)。本手法は、発生した変状を基に逆解析で鉄筋腐食速度を算定するため、材料・施工・環境の詳細な調査を必要とせず、それらの影響を含んだ鉄筋腐食速度を推定することが可能です。本手法を行うに

あたり、新たに必要となる調査項目は、かぶりコンクリートのはく落面積のみであり、目視を主体とする全般検査で簡易に鉄筋腐食速度を推定することができます。

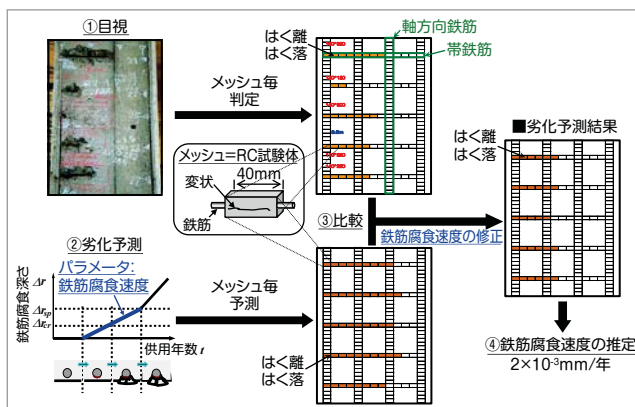


図 目視に基づく鉄筋腐食速度の推定法